

全国青パトフォーラム2018 in 広島

# 実施報告書

2019年2月発行

日本財団 公益事業部 国内事業審査チーム

1	はじめに	1
2	実施の報告	2～5
	実施概要	
	参加者集計	
3	フィールドワーク	6
4	「全国青パトフォーラム2018 in 広島」	7～12
	開会	
	基調講演	
	VR視聴	
	事例発表（2団体）	
	ワークショップ	
5	参加者アンケート結果	13～17
6	参考資料	18～19
	日本財団の助成実績	
	日本財団青パト専用サイト「チーム青パト」のご紹介	

2004年12月の道路運送車両法の規制緩和により、警察からの許可を受けた防犯団体は青色回転灯を点灯させて防犯パトロールを行うことが可能となりました。現在、全国で登録されている青色回転灯装備車(通称:青パト)は個人車両も含めて約45,000台(2017年12月31日現在)となっています。

日本財団では、青パトによる防犯活動を、地域づくりの一環と位置づけて、活動団体に対して、ハードとソフトの両面から支援をしています。ハード事業では、青パト車両の整備を行っており、当財団では、2008年度から、白黒に塗り分けた防犯活動の専用車を全国に323台(2018年9月4日現在)配備してきました。また、青パト団体の活動の活性化を目指すためのソフト事業として、全国の防犯団体や関係機関の皆様を対象に、年1回「青パトフォーラム」を開催しています。これまで東京で2回、福岡、大阪、宮城で各1回、より有効な活動を行えるような情報提供や課題解決のための議論の場、さらには各関係者同士の交流の場として、フォーラムを開催してまいりました。

地域と連携して行われる防犯活動は、安心・安全なまちづくりに寄与しているところではありますが、課題も指摘されています。特に、パトロールの方法としてこれまで主に行われてきた“ランダム・パトロール”は、防犯効果が高くはないことが報告されており、今回はより効果的な方法であるといわれている「ホットスポット・パトロール」に焦点を当てたフォーラムを企画いたしました。

フォーラム当日の午前中は、小宮信夫立正大学教授を講師に、実際に戸外に出て、どういった場所がホットスポットとなりうるのかについて、人数限定でのフィールドワークを実施しました。キーワードは「入りやすく、見えにくい」、たとえば全面ガラス窓であってもそこに特大ポスターが掲示されていると死角ができてしまうこと、出入り口にチェーンが張ってあるだけで、心理的に入りにくいスペースとなることなど、目から鱗の学びとなったとご好評を頂きました。午後からは、VR視聴も行っての小宮教授の基調講演「防犯意識から防犯知識へ：真に効果的な防犯対策とは」、事例発表、少人数に分かれての参加型ワークショップ「青パト活動の課題と展望」などを実施し、活発な意見交換等がなされました。

地域力がますます必要とされる超高齢化社会を迎える我が国にとって、青パト活動は地域を結びつける有効なツールであると考えられることから、日本財団はこれからも青パト活動に関する事業を支援し、安心・安全なまちづくりをお手伝いしていきます。

## 実施概要

1. 名称：全国青パトフォーラム2018 in 広島
2. テーマ：「青パト活動の誤解と真実」
3. 日時：2018年9月15日（土）13:30～17:00
4. 会場：TKPガーデンシティ広島駅前大橋
5. 主催：日本財団
6. 後援：警察庁、広島県、広島県警察
7. 参加者数：123名（63団体、ご来賓他）

### 8. プログラム：

<特別企画>

10:30フィールドワーク

<フォーラム>

13:30開会

主催者挨拶 佐々城 清（日本財団 公益事業部部長）

御来賓挨拶 近藤 亮太様（警察庁生活安全局 生活安全企画課 都市防犯対策官）

御来賓紹介 豊田 祐二様（広島県環境県民局県民活動課参事）

善岡 誠司様（広島県警察本部生活安全部生活安全総務課減らそう犯罪情報官）

13:45基調講演「防犯意識から防犯知識へ：真に効果的な防犯対策とは」

講師：立正大学文学部 小宮信夫教授

14:45VR視聴（ホットスポットの360度画像視聴と解説）

15:40事例発表

東広島市防犯連合会： 専務理事兼事務局長 久保田 博己様

東西条みまもりネット副代表兼事務局長 渡橋 誠様

栗熊コミュニティ クリックマン見守り隊：会長 松岡 繁様

事務局長、見守り部部長 大谷 秀雄様

見守り部青パト隊長 草薙 恭平様

16:10ワークショップ「青パト活動の課題と展望」

17:00 閉会

## 参加者集計

## 1. 地域別集計

カテゴリー	所在地	団体数	参加人数
警察関係		7	12
行政関係		4	6
団体	広島県	12	27
	岡山県	1	1
	島根県	2	7
	山口県	1	1
	中国地方以外	36	69
合計		63	123

## 2. 団体別集計

警察関係	
東京都	警察庁生活安全局 生活安全企画課
広島県	広島県警察本部 生活安全部生活安全総務課
広島県	東広島警察署生活安全課
富山県	富山県警察（生活安全部 生活安全企画課）
京都府	京都府警察本部生活安全部 生活安全企画課 犯罪抑止対策室
香川県	香川県警察本部 生活安全部 生活安全企画課
福岡県	福岡県警察本部
行政関係	
広島県	広島県環境県民局県民活動課
広島県	福山市役所 生活安全推進課
福岡県	福岡県庁 生活安全課
岐阜県	岐阜市議会議員

## 2. 団体別集計

団体所在地	団体名
北海道	社会福祉法人HOP
茨城県	おおつ野町青色防犯パトロール隊
栃木県	佐野市防犯協会
神奈川県	片倉町大丸町内会
富山県	安全企画センター
富山県	加積地区防犯組合
石川県	小松橋南地区防犯協会
岐阜県	方県地区の安全を守る会
岐阜県	岐阜市日置江地域防犯パトロール連絡協議会
愛知県	NPO法人高浜南部まちづくり協議会
愛知県	城山連合自治会青色防犯パトロール隊
京都府	右京防犯推進委員連絡協議会
大阪府	荒川校区青色パトロール隊
大阪府	石切東地区防犯委員会
大阪府	上小阪校区青色防犯パトロール隊
大阪府	鴻池東校区地域安全センター 青色パトロール隊
大阪府	成和校区自治連合会 青色パトロール隊
大阪府	太平寺防犯青色パトロール隊
大阪府	田原台ライフセーバーズ
大阪府	東大阪市自治協議会 青色防犯パトロール隊
大阪府	縄手上四条校区青パト隊
奈良県	社会福祉法人橿原市手をつなぐ育成会
奈良県	奈良市平城地区自主防災防犯会
島根県	しまね防犯サークルSCOT（島根県立大学防犯サークル）
島根県	高津地区まちかど声かけたい
岡山県	上道親父の会

## 2. 団体別集計

団体所在地	団体名
広島県	安佐南区緑井学区防犯組合
広島県	安佐南防犯組合連合会
広島県	宇品西地区社会福祉協議会
広島県	NPO法人ふるさとの森せらにし
広島県	大竹市防犯連合会
広島県	川根振興協議会
広島県	庄原市総領自治振興区
広島県	青少年育成三次市民会議
広島県	東広島市防犯連合会
広島県	広島市楠那学区社会福祉協議会
広島県	広島南防犯連合会仁保支部
広島県	宮島口交番連絡協議会
山口県	NPO法人 じゃがいもの会
香川県	栗熊コミュニティ
香川県	国分寺南部校区コミュニティ協議会
愛媛県	久谷地区青少年健全育成連絡協議会
愛媛県	西条地区神拝支部
福岡県	大佐野区自治会
福岡県	三筑校区防犯組合
福岡県	直方地区防犯協会（東校区自治会）
福岡県	福岡県福岡市飯原校区自治協議会
福岡県	御笠青色パトロール隊
佐賀県	特定非営利活動法人 愛えん
熊本県	熊本県合志市 黒石団地区防犯パトロール隊
熊本県	水俣市3区自治会防災・防犯委員会
鹿児島県	川西町地域安全パトロール隊

フォーラム開催前の午前中に参加希望者を募り、広島の街で小宮教授からホットスポット（犯罪が起りやすい場所）について学ぶ、フィールドワークを開催しました。

ホットスポットは、  
「入りやすい場所」、  
「見えにくい場所」

チェーンなどがかかっておらず、  
簡単に入れる駐車場は  
ホットスポットのひとつです。



コンビニエンスストアの前でも  
立ち止まった小宮先生。

大きなポスターを貼ったり、  
雑誌コーナーを人がふさぐことで  
「見えにくく」なっているコンビニもあり、  
そこでは万引きや  
強盗が起りやすくなるそうです。

川沿いに設置された公衆トイレ。

男性・女性のトイレがひとつで、  
入口の前の植物が視界を遮っており、  
完全な「入りやすく、見えにくい場所」に  
なっていることを確認しました。



公園で解説をしてくださっている様子。

植え込みで囲われていて  
入りにくくはなっていますが、  
子どもたちが中に入ってしまうと  
周囲から「見えにくい」場所であるため  
ホットスポットになる  
危険性はあるとのこと。

## 開会

## 1. 主催者挨拶

日本財団 公益事業部部長  
佐々城 清



## 2. 御来賓挨拶

警察庁生活安全局生活安全企画課  
都市防犯対策官  
近藤 亮太様



## 基調講演

## 「防犯意識から防犯知識へ：真に効果的な防犯対策とは」

講師：立正大学文学部 小宮信夫教授



映像を用いながら、犯罪学における「犯罪原因論」と「犯罪機会論」についての説明と、ホットスポットとはどのような場所かを解説していただきました。

1人の参加者を“犯罪者”に見立て、「ランダム・パトロール」と「ホットスポット・パトロール」の違いをレクチャー。

ランダムに道路を行き来する「ランダム・パトロール」の後、ホットスポット周辺に一定期間滞留する「ホットスポット・パトロール」を実践。

“犯罪者”役の参加者の方は「ホットスポット・パトロールはプレッシャーがかかり、犯罪はしにくそうです」と感想を述べてくださいました。

## 重要なのは、「人」ではなく「景色」



## VR視聴

## 「防犯意識から防犯知識へ：真に効果的な防犯対策とは」

講師：立正大学文学部 小宮信夫教授

360°画像を見ながら、ホットスポットはどこかを自らの目で探す体験をしました。

みなさんがのぞいているのは今回のフォーラムのために作成した特別なVRゴーグルです！



## 「どんな場所なら犯罪をしたくなるのか」を見抜く



小宮先生の解説で、答え合わせ。

危険な箇所の説明だけでなく、花壇が整理されている家の前は犯罪が起きにくい場所であるという解説もしていただきました。

## 事例発表

青色パトロール活動団体2団体による活動事例発表がありました。それぞれの特徴や力を入れていることについて、お話をいただきました。

## 東広島市防犯連合会（広島県東広島市）



## 栗熊コミュニティ（香川県丸亀市）



## ワークショップ

普段青パト活動をされている方々が100名以上もいらっしゃる場であることを生かし、意見交換が行うことのできるワークショップを行いました。2つのトピックで話し合った内容を以下にまとめました。

## トピック①青パト活動をする上で「課題」となっていること

	全体的な課題	個別の課題
隊員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢化 ●固定化</li> <li>●人数減少 ●免許返納</li> <li>●新規隊員募集の困難さ</li> <li>●下校時活動隊員の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●犯罪発生時間帯の隊員の確保</li> <li>●各種団体責任者以外の協力が必要</li> </ul>
財源の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガソリン代 ●車検費用</li> <li>●活動費用不足</li> <li>●活動費用が自己負担</li> <li>●保険費用（無制限保障）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●活動用アイテム購入費</li> <li>●参加者数に見合ったパトライト購入費がない</li> <li>●軽四駆にしたい</li> </ul>
パトロールの手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ランダムパトロール</li> <li>●通り一遍、形式化</li> <li>●ただ走っているだけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行き止まりが複数箇所ある地形により巡回困難</li> <li>●コンビニに若者が集まっている</li> <li>●意欲はあってもやり方がわからない</li> <li>●危険箇所の把握</li> </ul>
連携の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政 ●教育委員会</li> <li>●PTA・自治会</li> <li>●情報交換不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●駐在所と連携していたが、署員減少で廃止へ</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●駐車場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人車両利用のため個人負担が大きい</li> <li>●中古車両利用のため整備費がかかる</li> <li>●証明書の紛失が多い</li> <li>●高齢者の見守りニーズがある</li> <li>●活動日誌の記入が煩雑</li> <li>●青パト証明書申請のハードルが高い</li> </ul>

## ワークショップ

## トピック②活動をしている団体の「自慢ポイント」

	参加団体の主な活動自慢	こんな自慢も！
隊員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育・環境・交通・防犯等の各団体が日替わり巡回</li> <li>●地域の諸団体が参画</li> <li>●アットホームな雰囲気</li> <li>●自主性・責任感・活気がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業、女性活動クラブ、大学生ボランティアなど若い世代の活動参加</li> <li>●内部での表彰により志気を高めている</li> </ul>
財源	<ul style="list-style-type: none"> <li>●回転灯設置の補助</li> <li>●行政による補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の他の事業所からの支援あり</li> </ul>
多様な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災時の見守りや高齢者移送</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資源回収</li> </ul>
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティのまちづくりのひとつになっている</li> <li>●学校・警察署・交番・行政との定期的な連絡協議会</li> <li>●地域団体との交流（商工青年部、小中学校のおやじの会等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域店舗など、青パト立寄り所がある</li> <li>●ボランティア交流会の開催、グランドゴルフなどを通じた地域との交流</li> <li>●小学6年生を中心に開催される感謝会に招待される</li> </ul>
工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ドライブレコーダーの装着</li> <li>●自動ブレーキの装着</li> <li>●児童の吹き込みによるテープを放送しながらパトロール</li> <li>●防犯キャンペーンの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●4～5台で隊列をなしてのパトロールの実施</li> <li>●夏休みに青パト試乗を実施</li> <li>●テーマ曲を作り、流しながらパトロール</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部から表彰を受けている</li> <li>●子どもたちに手を振られるなど地域に浸透している</li> <li>●独居者の安心感につながっている</li> </ul>	—

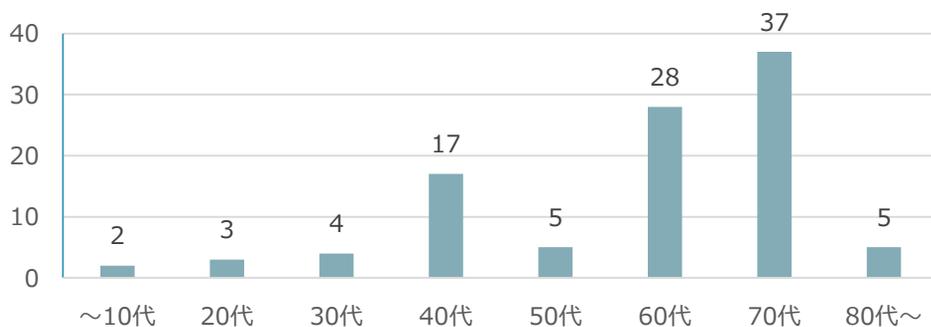
## 小宮先生からの総括コメント

「選択と集中」「地域に根付くものであること」がキーワード。  
 皆さんの活動が効果のあるもの・  
 持続するものに深化することを願っている。

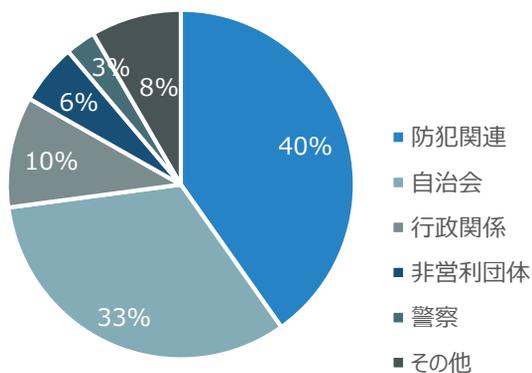
## 概要

実施年月日 : 2018年9月15日  
 対象人数 : 123名(フォーラム参加者)  
 回収人数 : 104名  
 回収率 : 82.5%

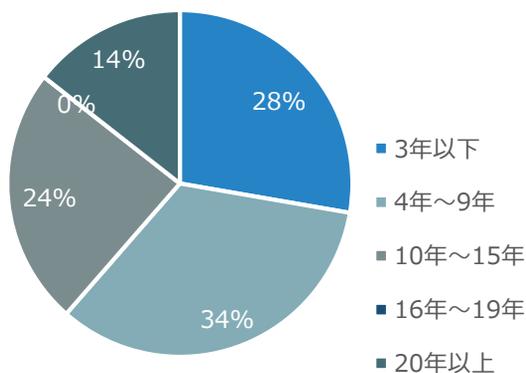
年齢



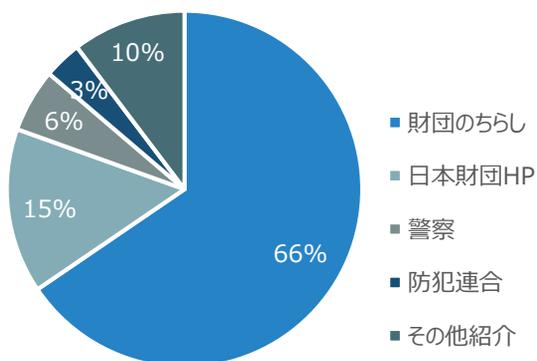
所属



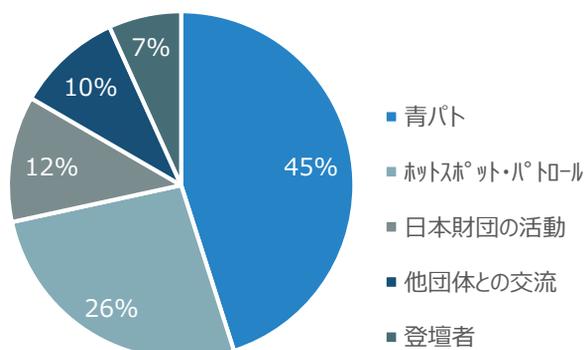
活動年数



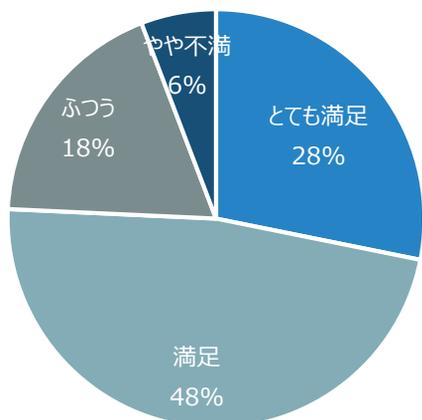
Q1 どの情報媒体で知りましたか？



Q2 何に興味を持ってご参加されましたか？

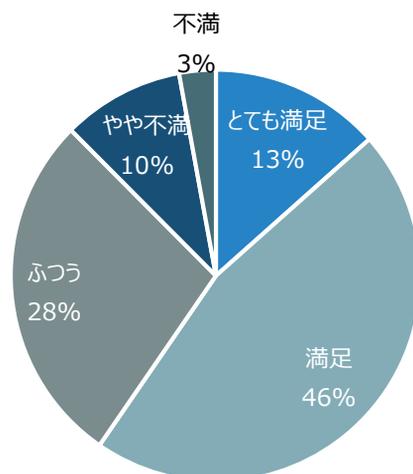


Q3 開催会場はいかがでしたか？



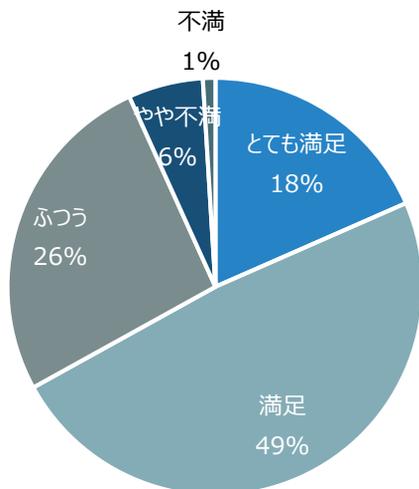
満足理由  
 ・駅から近くわかりやすかった  
 ・広々としていた  
 不満理由  
 ・地元でやってほしい

Q4 開催の曜日はいかがでしたか？



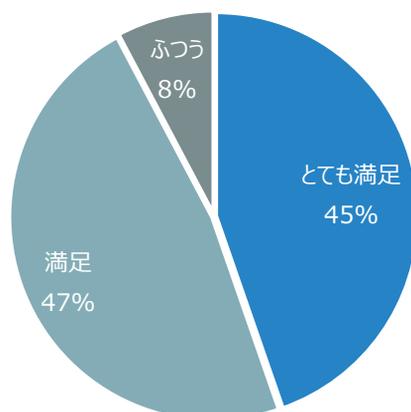
満足理由  
 ・休日だと参加しやすい。  
 ・広い範囲の方に多く出席してもらうには土日がいいと思う  
 不満理由  
 ・3連休で新幹線の切符を取るのが大変だった

Q5 開催の時間はいかがでしたか？



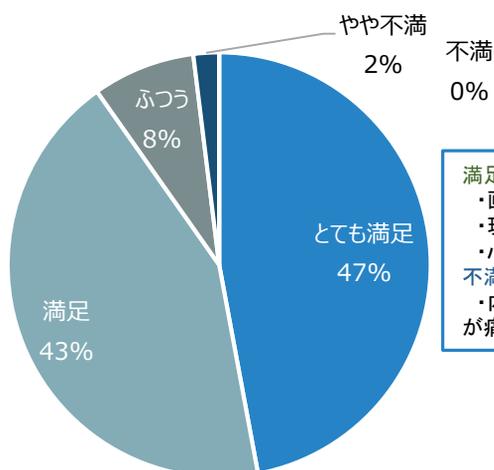
満足理由  
 ・午後からの開催でゆっくりできた  
 不満理由  
 ・もっと長くしてほしい

Q6 今回の講演内容はいかがでしたか？



満足理由  
 ・とてもわかりやすかった。  
 ・これまでの番組映像も見れて楽しみながら理解を深めることができた

Q7 VR視聴はいかがでしたか？



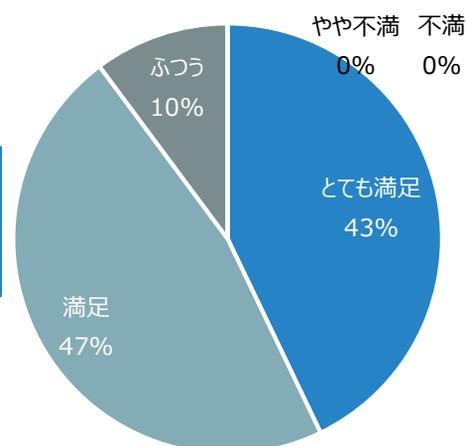
**満足理由**

- ・画期的
- ・現場を疑似体験できる。
- ・パトロール実施ポイントが具体的

**不満理由**

- ・内容には満足しているが途中で頭が痛くなってしまった

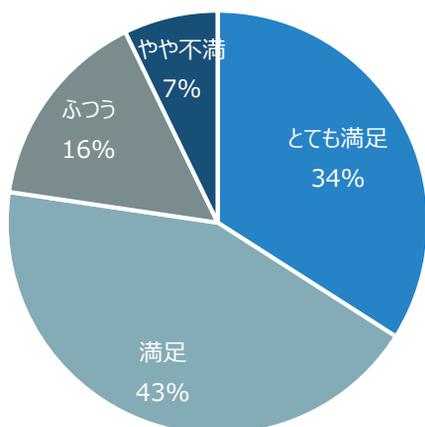
Q8 事例発表はいかがでしたか？



**満足理由**

- ・各地域の取り組みを知ることができた
- ・各団体とも共通することが多いことを再認識できた

Q9 ワークショップはいかがでしたか？



**満足理由**

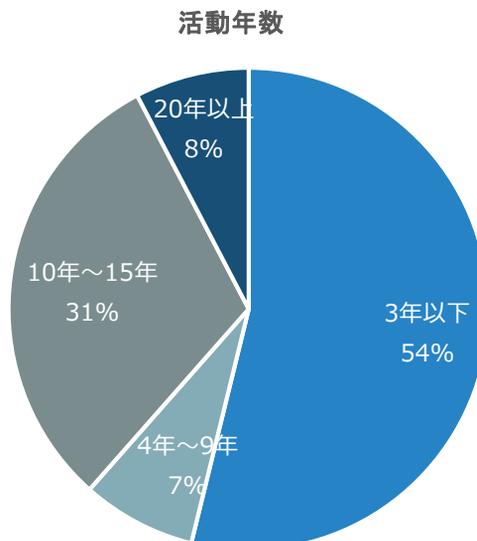
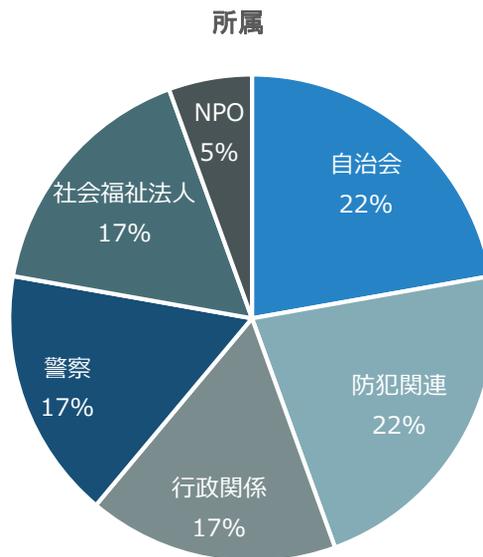
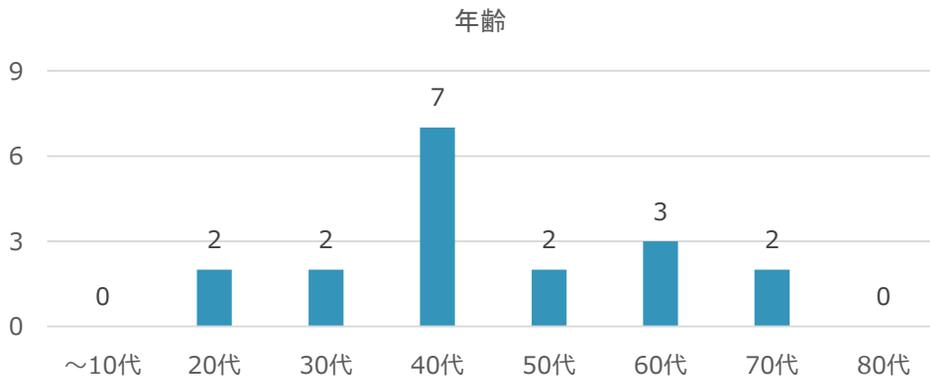
- ・様々な地域事情が聞けて有意義だった

**不満理由**

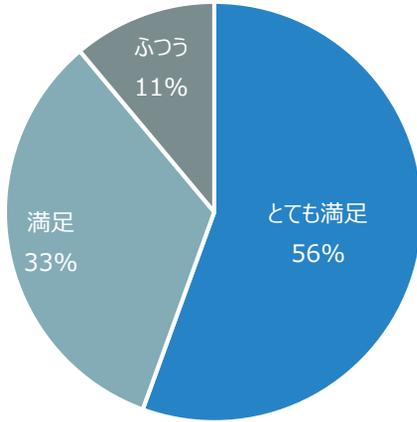
- ・もう少し議論の時間があってもよかった

Q10 今後全国青パトフォーラムでは何を期待しますか？

- ・ワークショップのDVDを配布してほしい
- ・日本財団から補助金が出れば嬉しい
- ・他所での活動内容や、困ったことをどのように解決したか詳細を知りたい
- ・「事例集」や「活動マニュアル」を作成してほしい
- ・犯罪も時代の変化で変わるので、時々のテーマも変えて継続してほしい

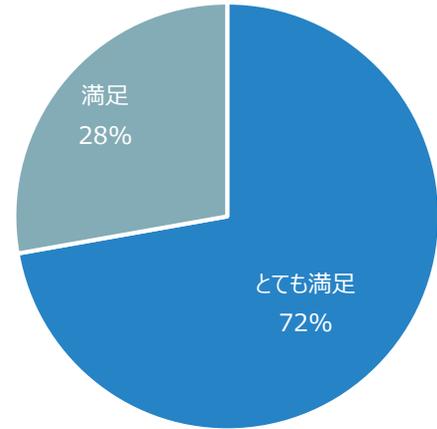


Q1 フィールドワーク実施の時間は  
いかがでしたか？



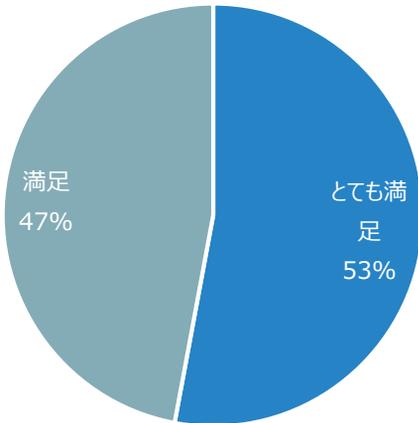
・実際に歩いてまわることで、負担になるかと思っただが、ちょうどよかった  
・集中してできる丁度よい時間だったと思う

Q2 今回のフィールドワークの内容は  
いかがでしたか？



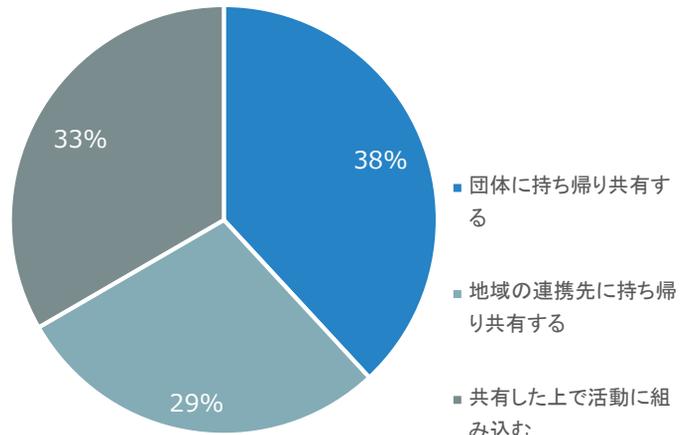
・目の付けどころが全く違う事に気付かされた  
・具体的な場所を見ながら要点を学習できたので、分かりやすかった

Q3 フィールドワーク後の意見交換会は  
いかがでしたか？



・様々な分野の方から貴重な意見を聞くことができた  
・若年、それ以外の年齢によって考え方も防犯の目線がちがうと感じた

Q4 フィールドワークで学んだことを  
今後の活動にどのように活用されますか？



・改善可能な事項や、パトロールの際の着重点の共有をし、実際のパトロールに活用したい  
・各地域や小学校の地域安全マップづくりに活かしたい

日本財団の助成実績（2018年9月現在）

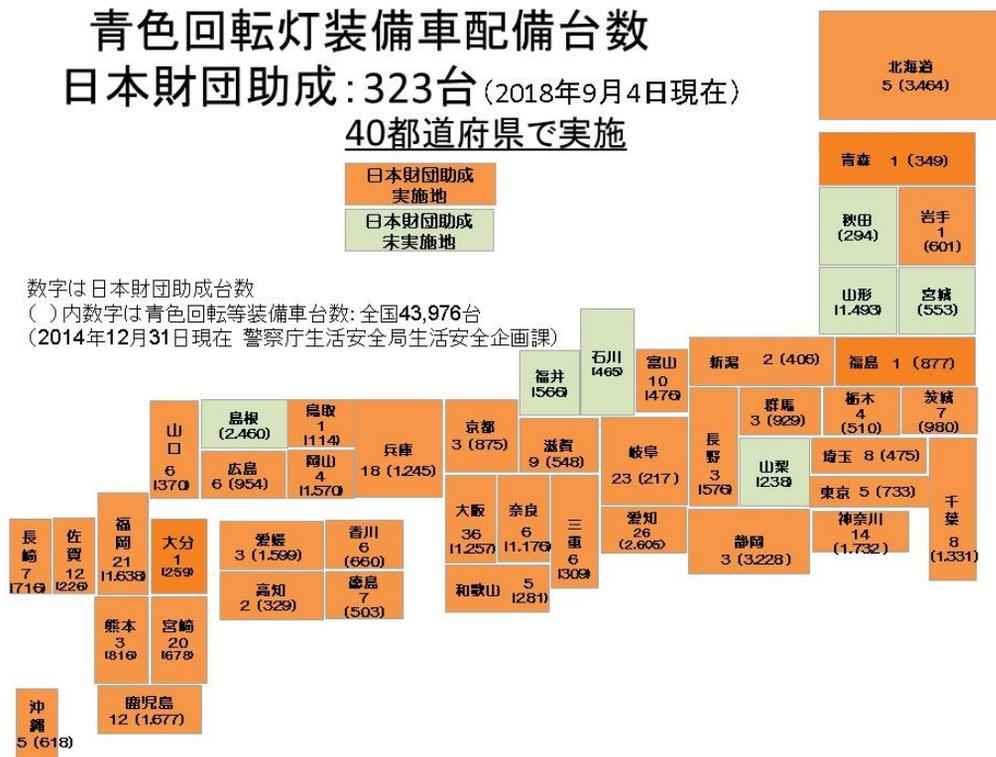
# 全国で、323台の青パトを配備

地域	日本財団助成台数
北海道	5
東北	3
関東	49
中部	67
近畿	83
中国・四国	35
九州	81
合計	323

## 青色回転灯装備車配備台数 日本財団助成：323台（2018年9月4日現在） 40都道府県で実施

日本財団助成 実施地
日本財団助成 未実施地

数字は日本財団助成台数  
（ ）内数字は青色回転等装備車台数：全国43,976台  
（2014年12月31日現在 警察庁生活安全局生活安全企画課）



日本財団青パト専用サイト「チーム青パト」のご紹介

## 日本財団「チーム青パト」

<http://teamaopato.wixsite.com/aopato>

青パト専用のサイトです。ぜひご覧ください！

※Internet Explorer8以前のバージョンではご覧いただけません。

Internet Explorer9以上でご覧ください。

<日本財団「チーム青パト」トップ画面>



## 日本財団「チーム青パト」

ホーム

助成事業について

青パトフォーラム

お問い合わせ



